

# 活動し始めて、まだ1年 課題解決と体制づくりに努めたい



地域の人にしめ縄づくりを学ぶ



地域の歴史について学ぶ貴重な機会

日野町学校支援地域本部  
地域コーディネーター

にしむらじゅんいち  
西村順一さん



「地域の皆さんは『学校支援地域本部』について知らない人が多い。積極的に広報して周知に力を入れたい」と語る西村さん

皆さんは『学校支援地域本部』をご存知でしょうか。これは、学校からの支援要請を受けて、地域の人が「学校支援ボランティア」として活動するものです。

平成24年6月から町教育委員会内に事務局が置かれ、私が地域コーディネーターとして、学校と地域との調整を行うほか、支援活動の中での子どもたちの様子を、学校に伝えていきます。

## 課題に向き合いながら

まだ活動し始めて1年目であり、表面化する課題に一つ一つ向き合い、解決しながら毎日を過ごしています。

まず、ボランティアを確保するに当たり、地域の中で同本部の活動があまり知られていないということが分かりました。今後、広報活動に力を入れていきたいと考えます。

次に、支援に合ったボランティアの確保に苦慮しています。今後考えられる支援として、樹木の剪定や簡易な施設

修繕などがあり、専門的な仕事に対応するボランティアの方を探しています。ボランティア登録可能な方のご連絡をお待ちしています。

次に、学校との連携があります。学校が支援要請しやすいよう、行事の日程や内容の把握に努めたいと考えます。地域コーディネーターが学校へ何回回数を増やすことで、円滑な支援要請の流れを作りたいと思っています。

## 支援の輪を広げたい

学校支援地域本部が設置される前から、学校では地域の皆さんの支援を受け学校運営されています。そのつながりを大事にして、さらに支援の輪が広がればと考えます。

活動に参加していただいた皆さんは、生き生きと楽しんでます。そして、子どもたちにもいろいろなことを教えたこと、強く思っています。子どもたちを地域で育てるために、ボランティア登録にご協力ください。



皆さん、  
一緒に活動しませんか  
子どもたちと交流し、  
楽しみましょう



わだよしひろ  
和田佳洋さん (小河内)

学校支援地域本部が設置される以前から週末活動や放課後子ども教室など、子どもたちの活動にかかわっていました。

放課後子ども教室で見守っていると、子どもたちは活発に遊んでいます。家族が迎えに来られても帰りたくなさそうにします。家に帰っても近所に友達も少なく、一緒に遊べないからでしょうか。

また、私たちはかかわる中で、「靴そろえや人の話を聞くこと、「はい」と返事をするなどなどを徹底しています。地域の大人もしっかり育てる役割があると思います。

学校ではグラウンドの草取りや樹木の剪定など環境整備に困って

おられるように感じます。樹木の剪定になると専門的な知識が必要となりますので、技術のあるボランティアさんが必要です。力を貸してください。

そして、私が子どもたちに伝えたいと思っているのは、和だこづくりやこま回し、お手玉などの『昔遊び』です。皆さんが昔遊んでいたことで専門的な技術は必要ありませんので、皆さん一緒にボランティア活動してみませんか。

子どもたちにかかわっていると、町で会ったとき声をかけてくれるので、うれしいです。この喜びが、ボランティアを続けていける力になります。

## 学校の応援団として活躍してみませんか！

学校支援ボランティアを募集しています。  
できる人ができるときに、できることを行うことが基本ですので、  
気軽に登録をお願いします。

### 【活用状況と今後考えられる活動】

学校の実情や要望、地域における人材の実態や希望などに基づき、  
さまざまな分野での支援活動が期待されています。

#### 《活用状況》

- ◆参観日において、茶道、グラウンドゴルフ、フラワーアレンジメント、昔遊び、お菓子づくりの講師、総合学習において、しめ縄づくり、歴史説明、郷土芸能指導の講師
- ◆校内マラソン大会において、校外コースの安全指導

#### 《今後考えられる活動》

- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| ◇グラウンドなどの環境整備や樹木の剪定 | ◆本の読み聞かせ・図書整備補助 |
| ◇学校田の維持管理（米づくり体験指導） | ◆通学路等安全指導       |
| ◇施設修繕などの大工仕事        | ◆部活動指導          |

【問合せ先】日野町教育委員会（電話 72 - 2107）／日野町公民館（電話 74 - 0212）